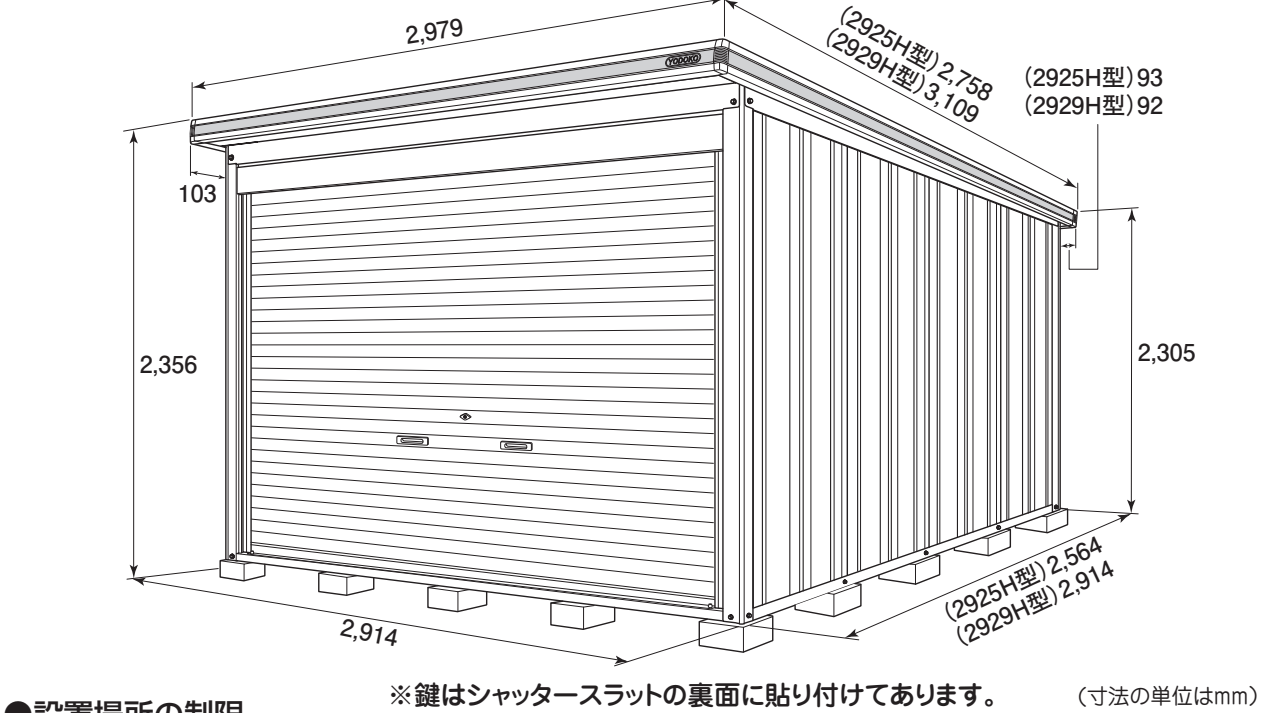


ヨド物置

エルモシャッター

単棟型〈床タイプ〉組立説明書 LOD(S)・2925HF型・2929HF型

このたびは「ヨド物置」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずご確認ください。
また「取扱説明書」「保証書」は大切な書類ですので、施工完了後、必ずお客様へお渡しください。
※この組立説明書は2929の図で説明しています。2925の場合も組立手順は同じです。
よくご確認の上、組立を行ってください。(組立は専門業者に依頼ください。)



- 設置場所の制限
- △注意
- 1.建物の屋上には設置しないでください。
 - 2.バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
 - 3.大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
 - 4.崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
 - 5.給湯器の前には設置しないでください。
- 施工前の注意点
- △注意
- 1.アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。
 - 2.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれくれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
 - 3.重い部材・梱包の運搬や取付の際は2名以上で行ってください。
 - 4.組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
 - 5.風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
 - 6.高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。

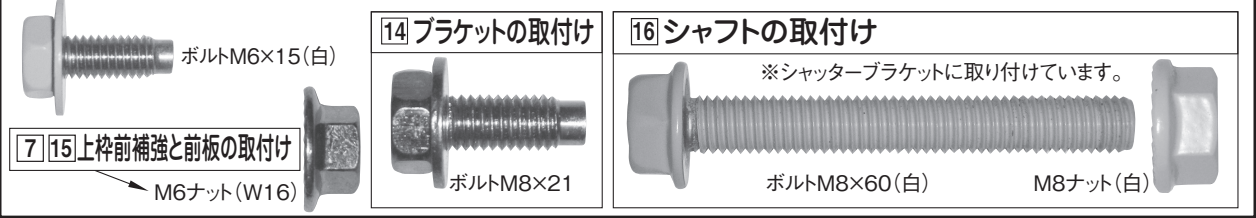
梱包組合せ表		
機種	2925 型	2929 型
枠	部 品	LO5-0111
	上枠前後	一般型
	積雪型	LO5-0207
	下枠前後	LO5-0227
	上枠左右	LO5-0306
柱	下枠左右	LO5-0356
	柱	LO5-0413
	間柱	LO5-1460
	奥隠し	LO5-1107
	一般型	LO5-0551
補強	一般型	LO5-0552
	積雪型	LO5-0552
	LO5-3551	LO5-3551
	LO5-3552	LO5-3552
	LO5-3552	LO5-3552

梱包内容表		
部品名	数量	数量
●部品	2925 型	2929 型
LO5-0111	数量	数量
部材名	数量	数量
ボルト M6×15 (白)	273(15)	5(1)
ボルト M8×21	5(1)	5(1)
ナット M6-16 用	5(1)	5(1)
ELD アンカープレート (L)	4	4
ELD 前通貼金具	1	1
ELD 屋根間隠し A	7	7
ELD 屋根間隠し B	1	1
組立説明書	1	1
取扱説明書	1	1
保証書 5 年	1	1
●上枠前後	2925 型	2929 型
LO5-0207	数量	数量
部材名	数量	数量
LOD 上枠前 A4.0	1	1
LOD 上枠後 A4.0	1	1
LOD 上枠左右 A4.0S	1	1
●下枠前後	2925 型	2929 型
LO5-0227	数量	数量
部材名	数量	数量
LOD 下枠前 YK A4.0	1	1
LOD 下枠後 YK A4.0	1	1
LOD 下枠左右 YK A4.0	1	1
LOD 下枠前後カバー YK 左	1	1
LOD 下枠前後カバー YK 右	1	1
●間柱	2925 型	2929 型
LO5-1460	数量	数量
部材名	数量	数量
ELD 間柱 前前 3.5H	2	2
ELD 間柱 前中 3.5H	2	2
ELD 間柱 前後 3.5H	2	2
●間柱	2925 型	2929 型
LO5-1462	数量	数量
部材名	数量	数量
ELD 間柱 前前 4.0H	2	2
ELD 間柱 前中 4.0H	2	2
ELD 間柱 前後 4.0H	2	2
●床	2925 型	2929 型
LO5-0724	数量	数量
部材名	数量	数量
ELD 床板 A3.5	2	2
●床	2925 型	2929 型
LO5-0725	数量	数量
部材名	数量	数量
ELD 床板 A3.5	3	3
●床	2925 型	2929 型
LO5-0727	数量	数量
部材名	数量	数量
ELD 床板 A4.0	2	2
●屋根	2925 型	2929 型
LO5-0951	数量	数量
部材名	数量	数量
ELD 屋根 (35) A3.5	4	4
●屋根	2925 型	2929 型
LO5-0962	数量	数量
部材名	数量	数量
ELD 屋根 (35) A4.0	2	2
●屋根	2925 型	2929 型
LO5-0963	数量	数量
部材名	数量	数量
ELD 屋根 (35) A4.0	3	3

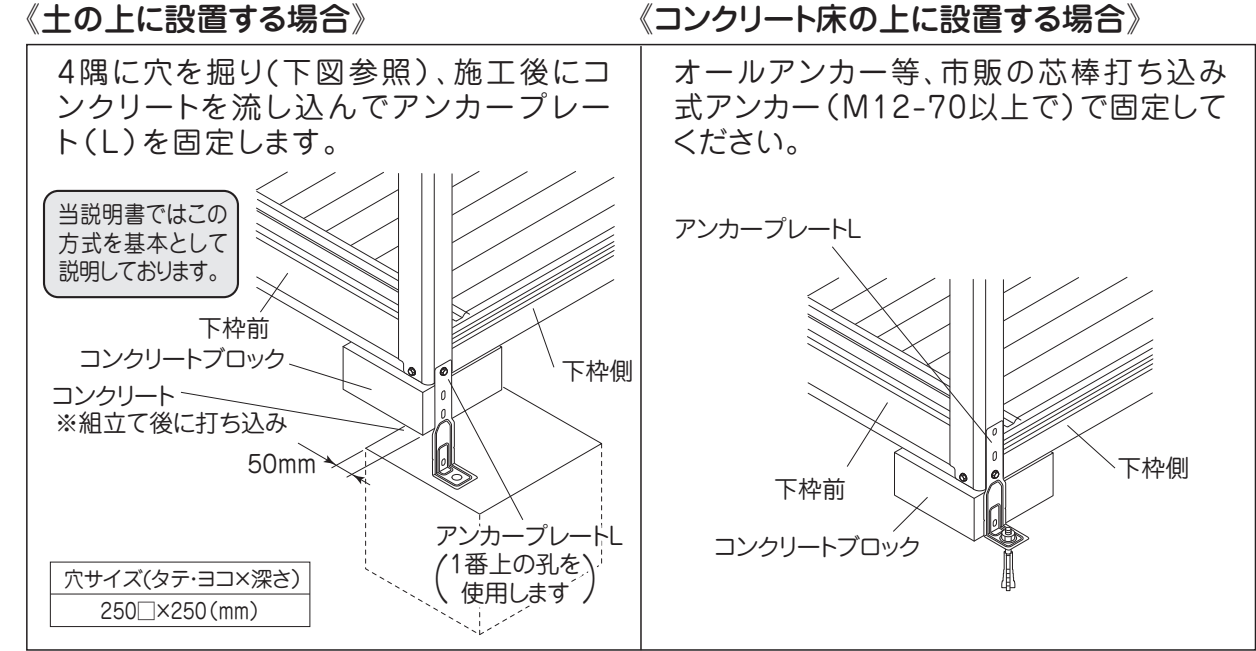
○部材名称にはA3.5、A4.0等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略しています。
○梱包番号の右側の数字は使用機種を示しています。

- 施工時の注意点
- 1.まず御注文通りの商品かどうかを梱包組合せ表・梱包内容表にて確認してください。
 - 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立してください。
 - 3.部材名称の左・右は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
※シャッターの部材名称は室内側から見ての左右となりますので間違えないように取り付けてください。
 - 4.部材の組立は、ボルトの孔に合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。
 - 5.組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。
 - 6.シャッター部材の取付けについては各工程に注意事項を記載しておりますので、よくご確認の上、組立を行ってください。

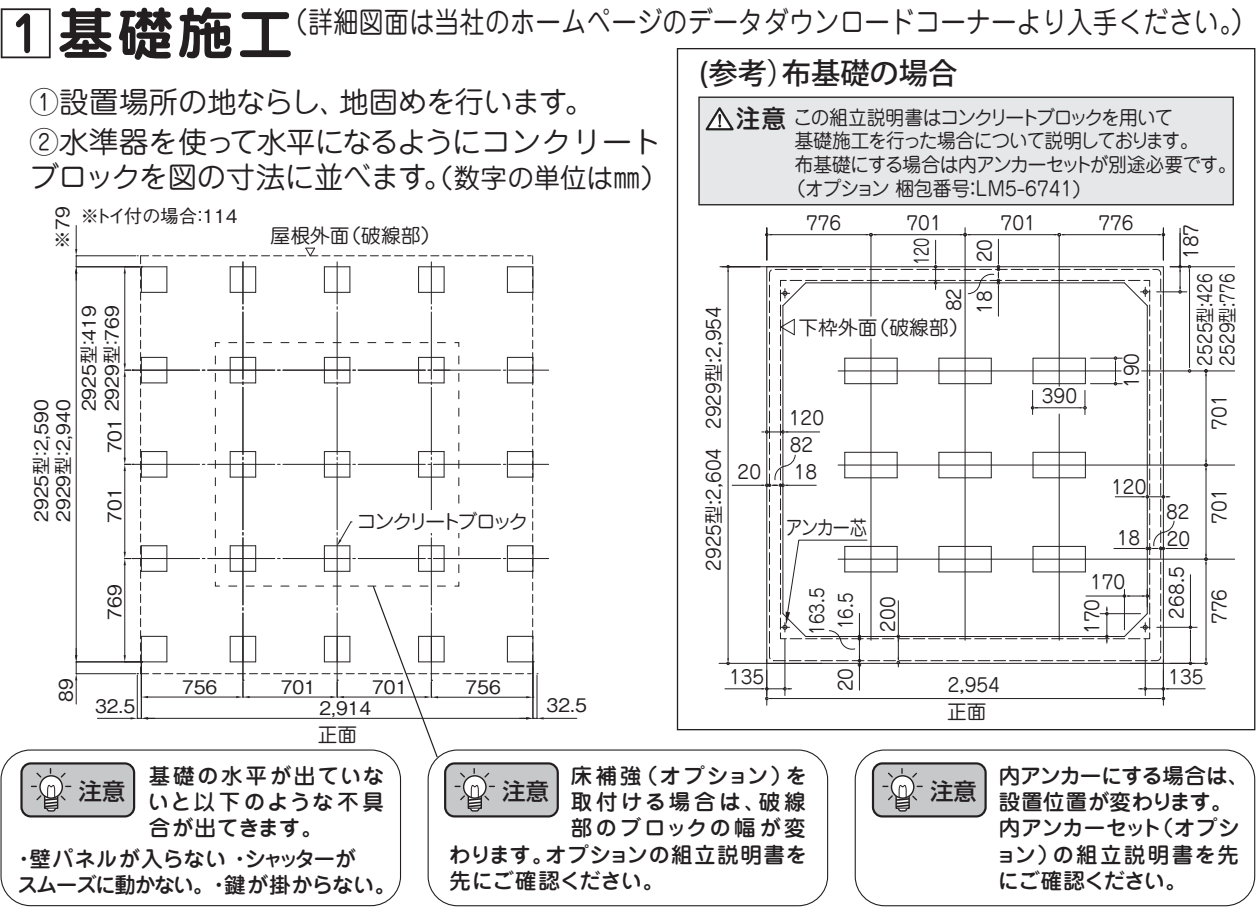
- 基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)
- ・コンクリートブロック 個数は①基礎施工を参照ください。(幅19cm(39cm)×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)
 - ・コンクリート (サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)*土の上に設置する場合に必要です。
 - ・芯棒打ち込み式アンカー (M12×70以上) 4本*コンクリート床の上に設置する場合に必要です。
- 組立に必要なもの(事前にご準備ください。)
- ・軍手 ・水準器 ・脚立 ・M6・M8ボルト・アンカーボルトの締結用のスパナまたはモンキー、ペンチ等工具、サゲフリ
- 使用ビス一覧(各工程の使用ボルト数に特に記載がない場合は、M6×15(白)を使用します。)



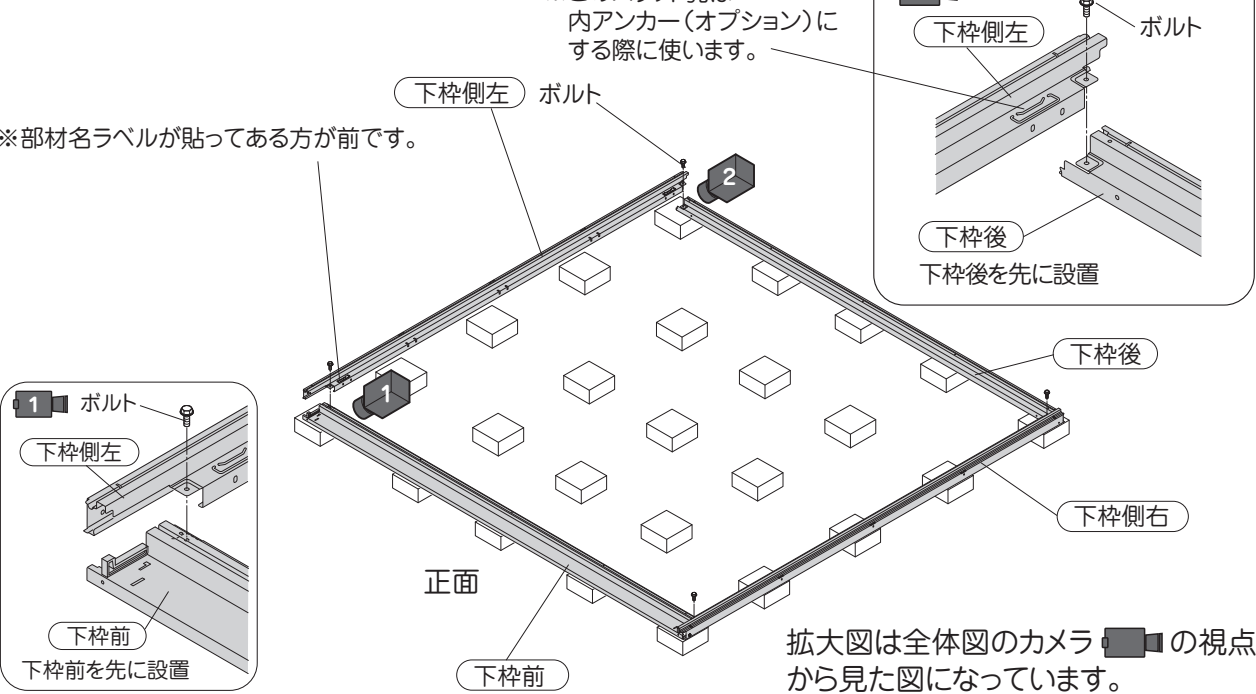
- アンカー工事について
- アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。
- △注意
- 内アンカーにする場合はオプションの「内アンカーセット」が別途必要です。アンカープレート(L)を使って内アンカーの工事はしないでください。



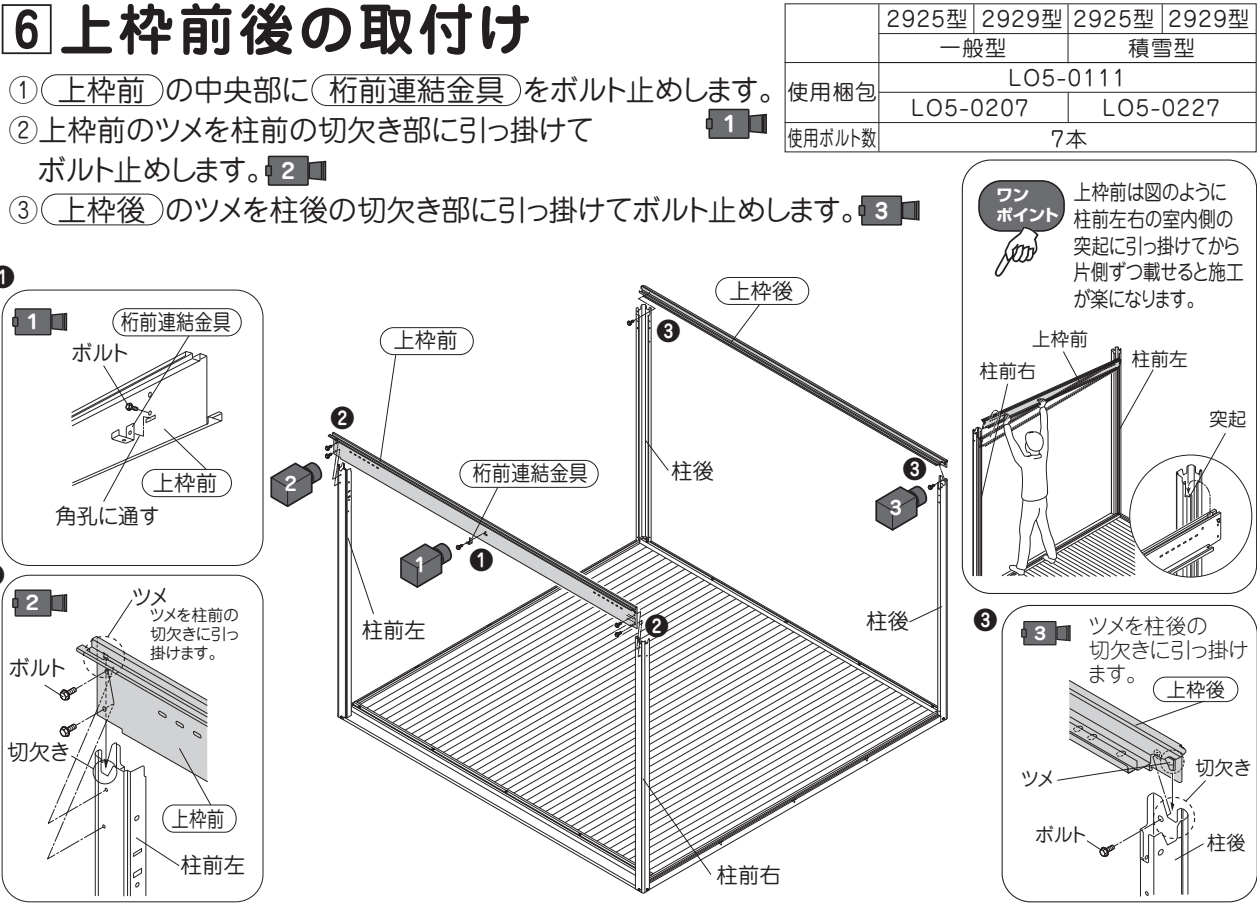
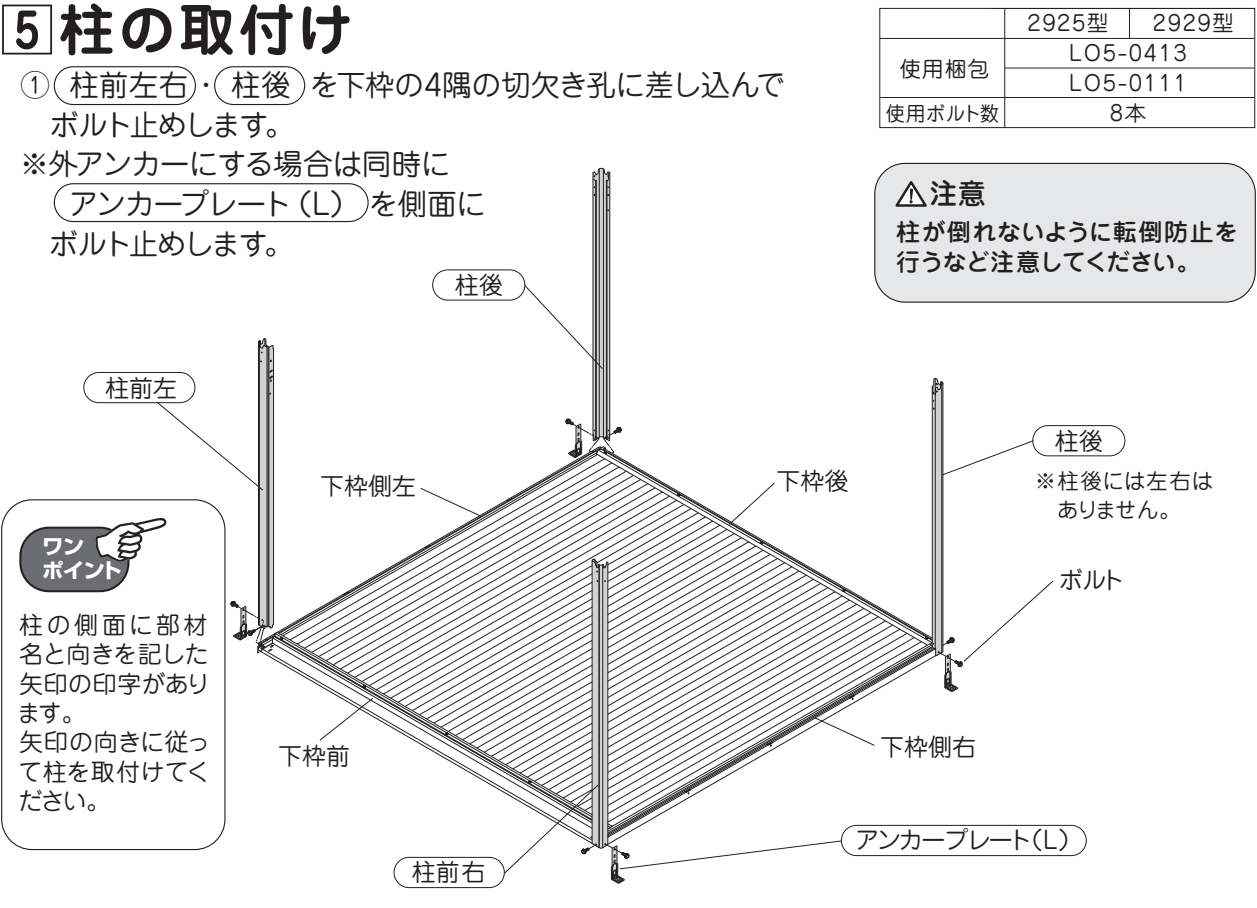
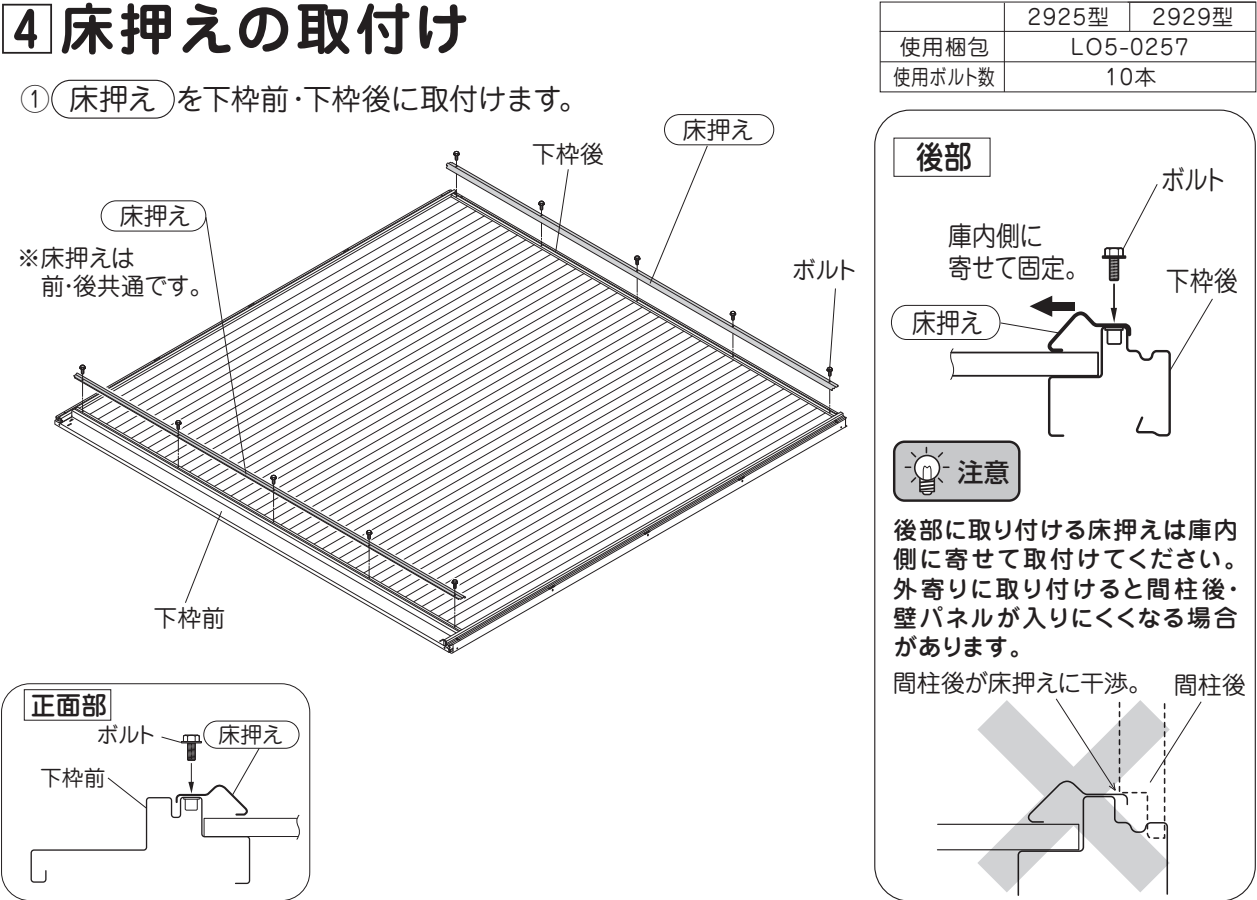
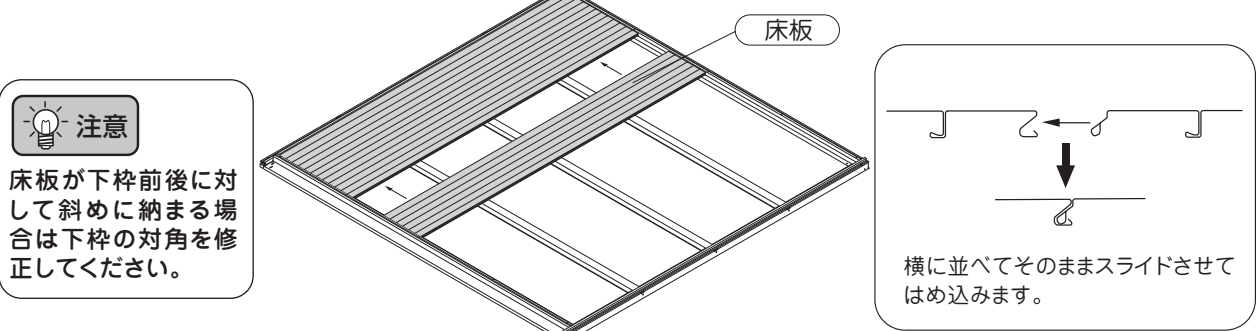
△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基岩風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。



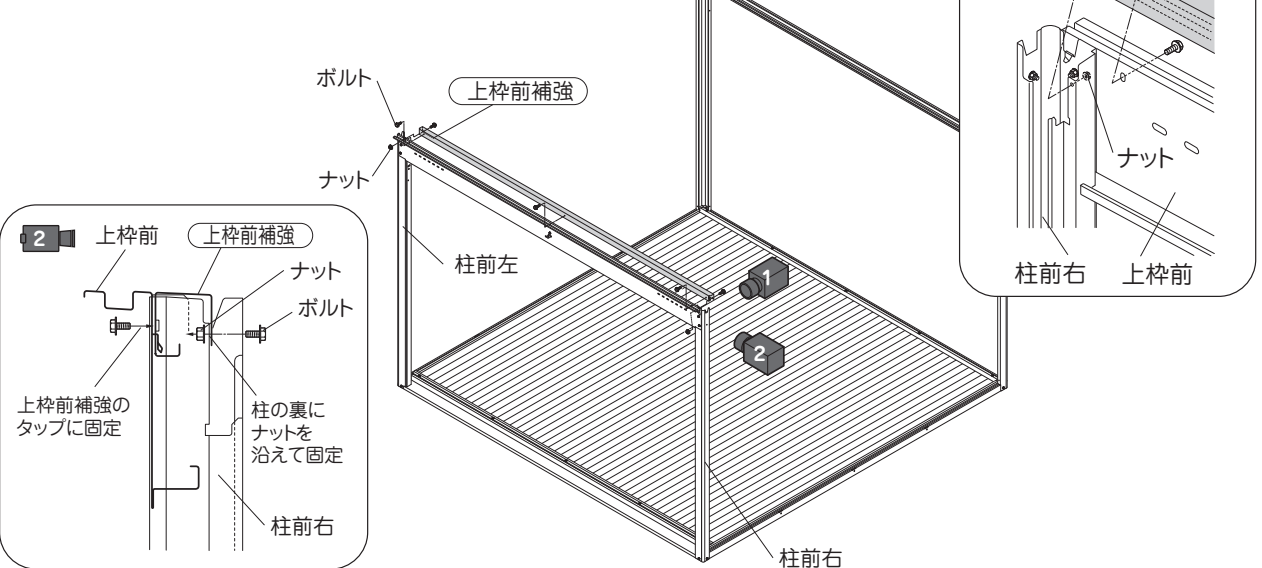
- 2 下枠の組立
- ① 下枠前・下枠後 を基礎ブロックの上に設置します。
 - ② 下枠側左右 を 下枠前・下枠後 の上から設置して4隅をボルト止めます。



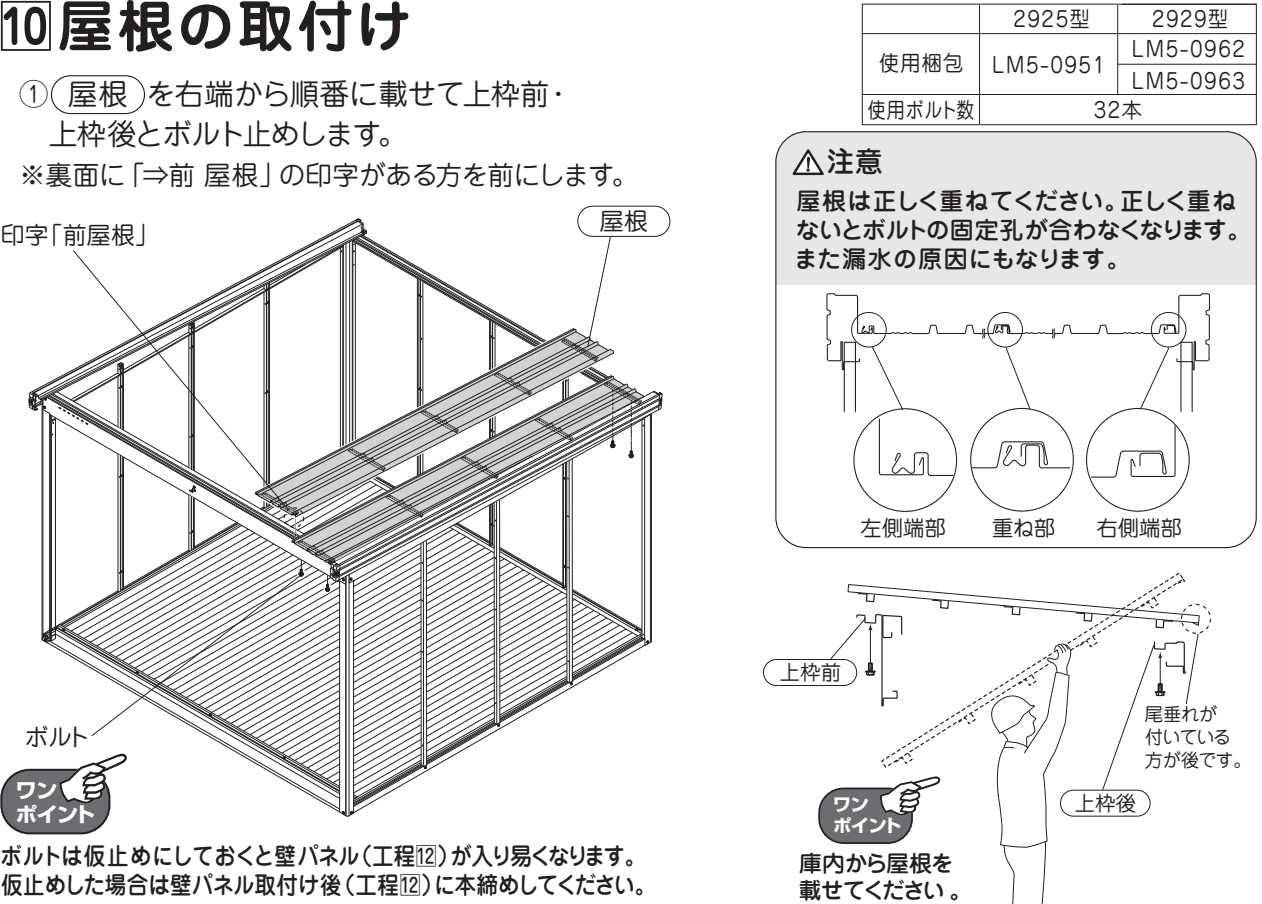
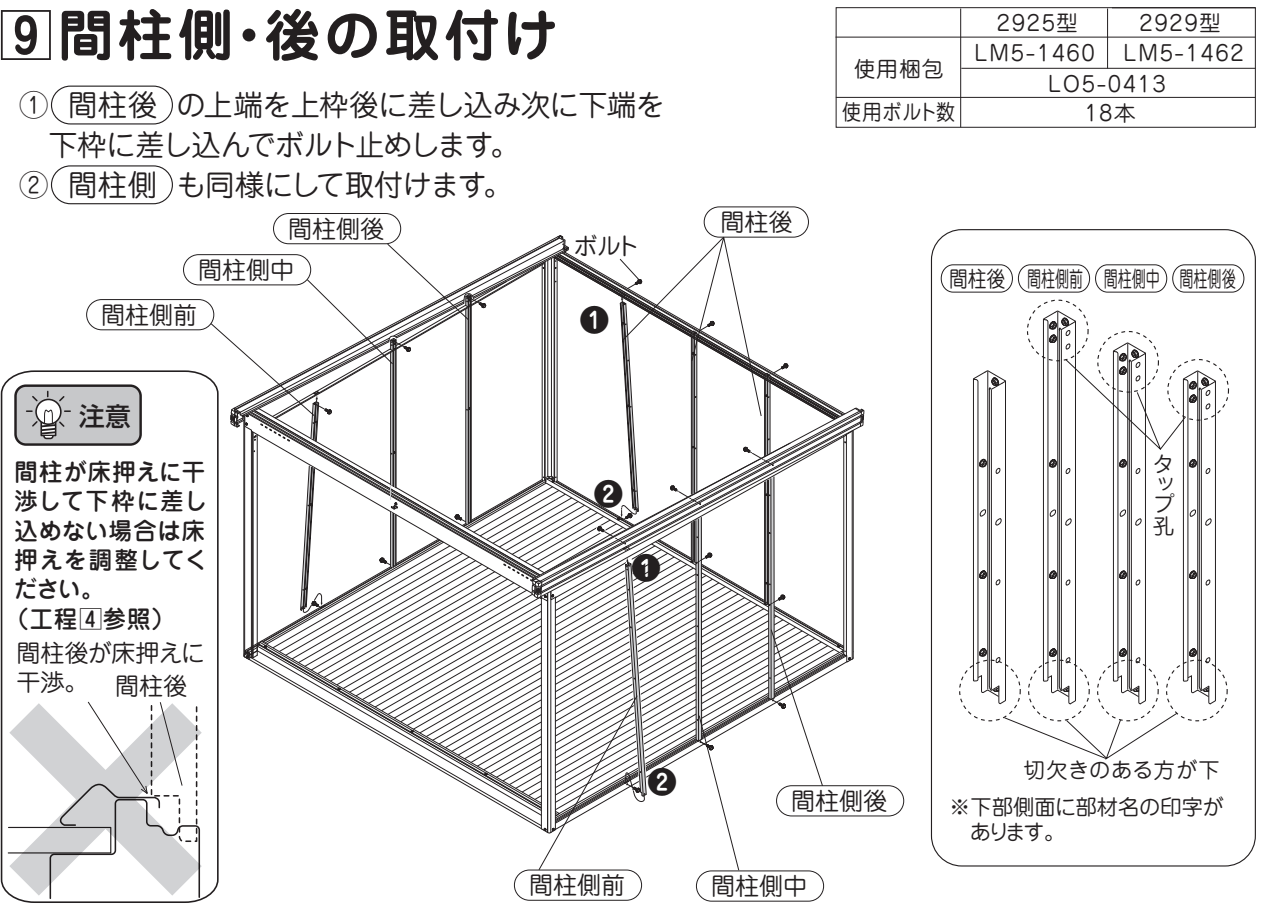
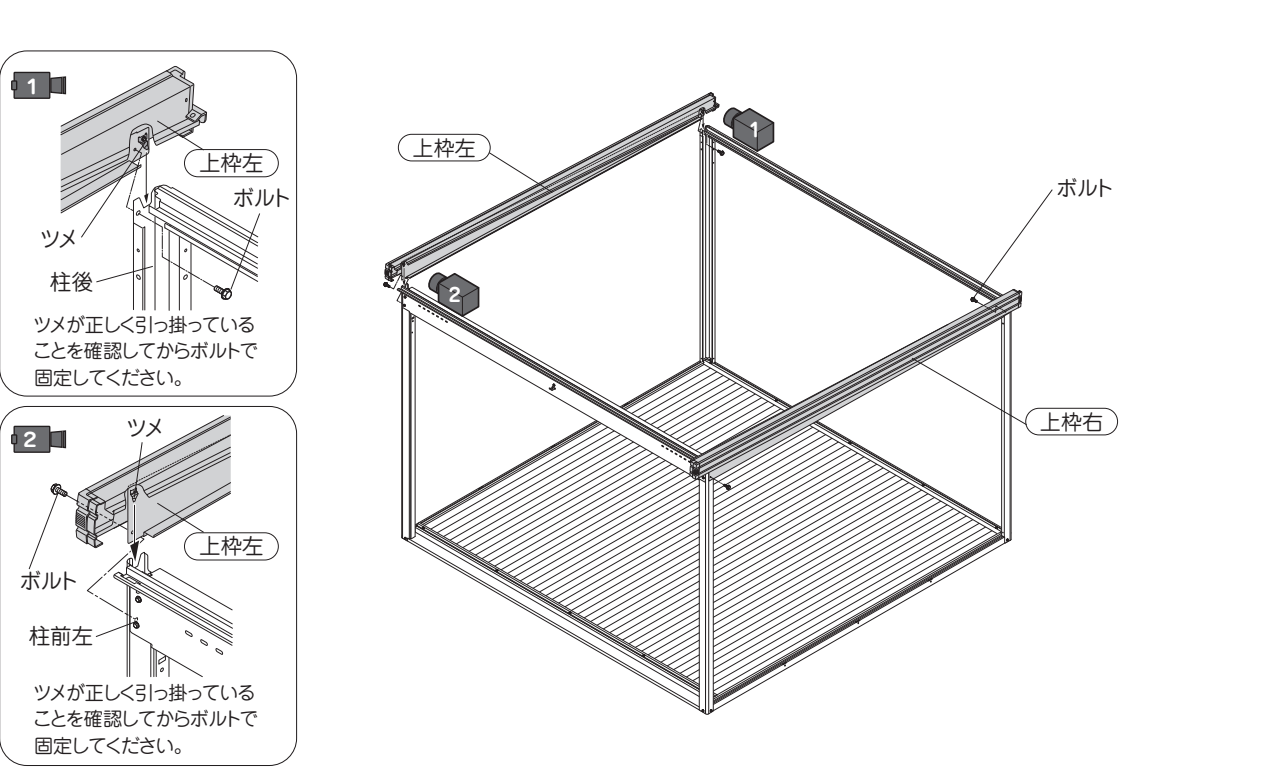
- 3 床の設置
- ① 床補強 を下枠側の切欠きに差し込んで取付けます。
 - ② 床板 を左端、もしくは右端(どちらからでも構いません。)から順番に並べていきます。
- △注意
- 床板が下枠前後に対して斜めに納まる場合は下枠の対角を修正してください。



- 7 上枠前補強の取付け ●積雪型の場合
- ① 上枠前補強 を室内側から柱前左右に載せ、両端部をボルトとナットで固定します。
 - ② 中央部は室外側から上枠前とボルトで固定します。
- △注意
- この工程で付けた忘れと大がかりな解体が必要です。

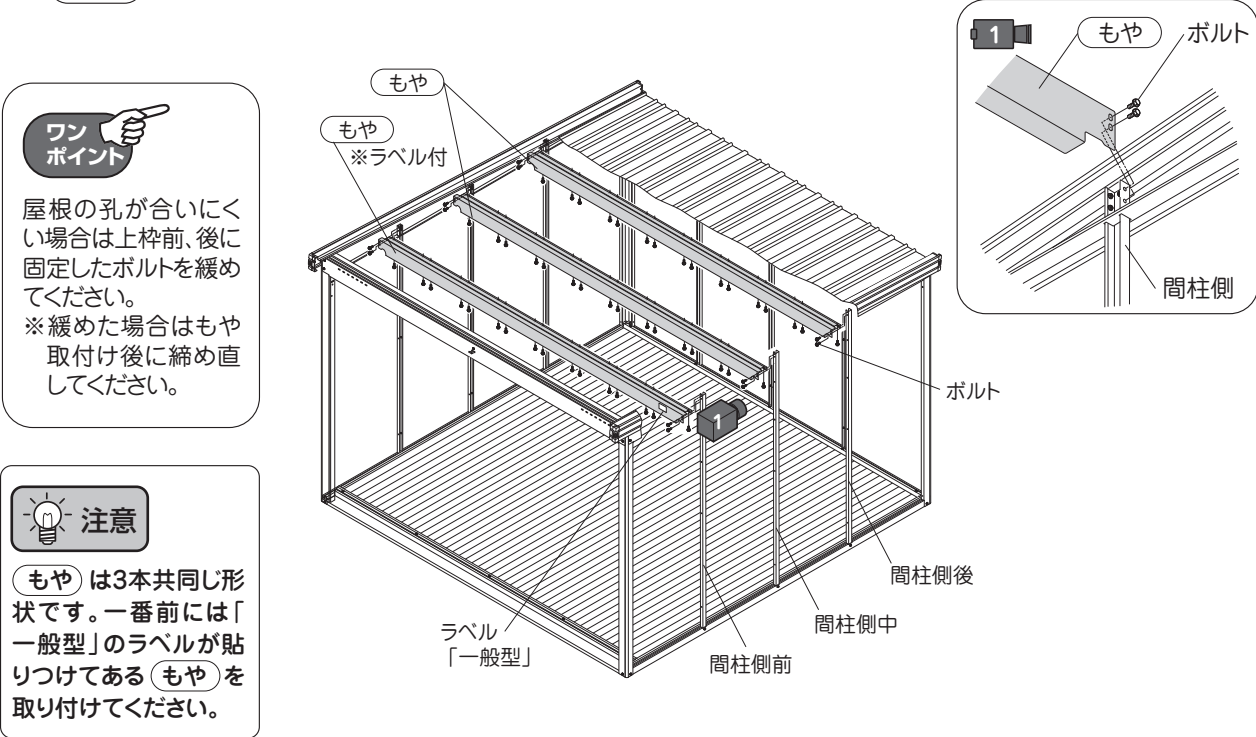


- 8 上枠左右の取付け
- ① 上枠左・上枠右 を柱に取付けます。



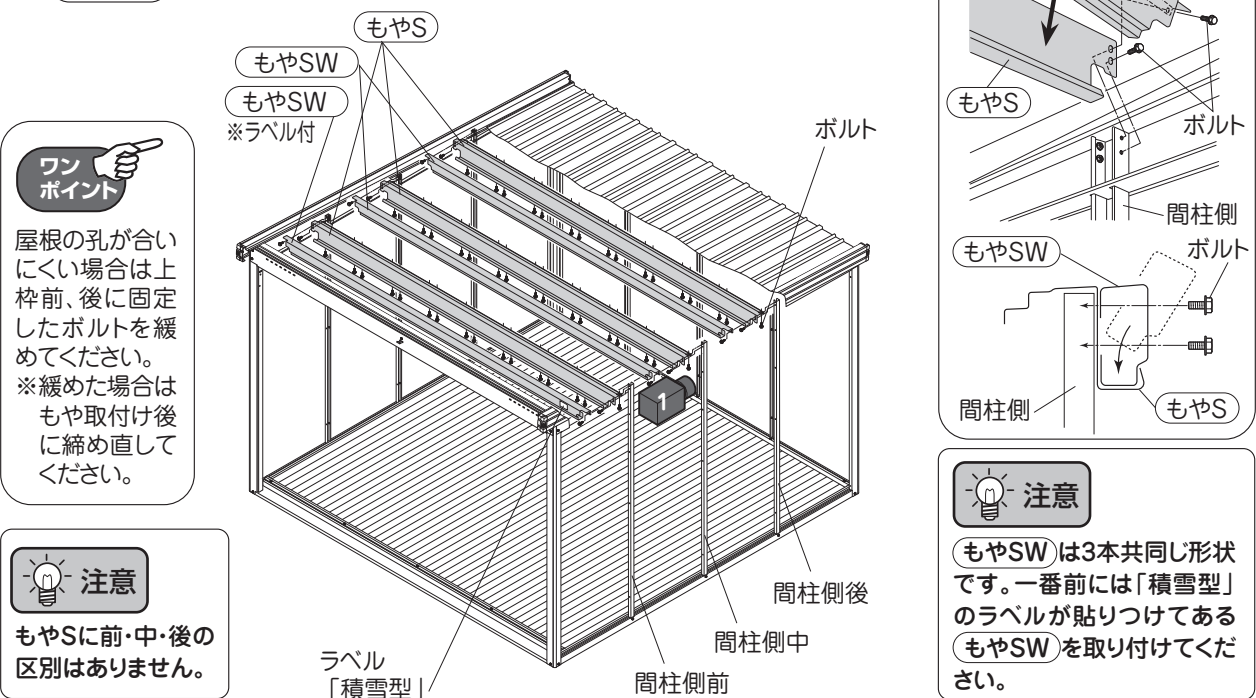
11-A もやの取付け ●一般型の場合

- ① **もや** を正面から間柱側に載せてボルト止めします。 **1**
- ② **もや** と屋根をボルト止めします。



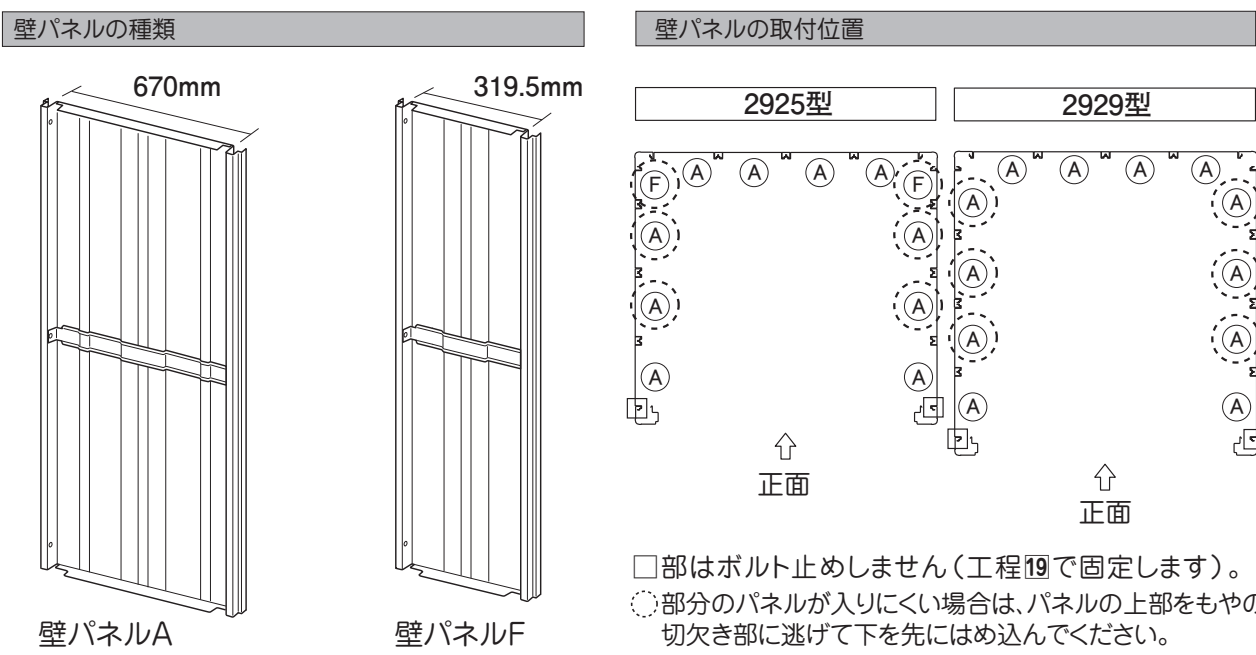
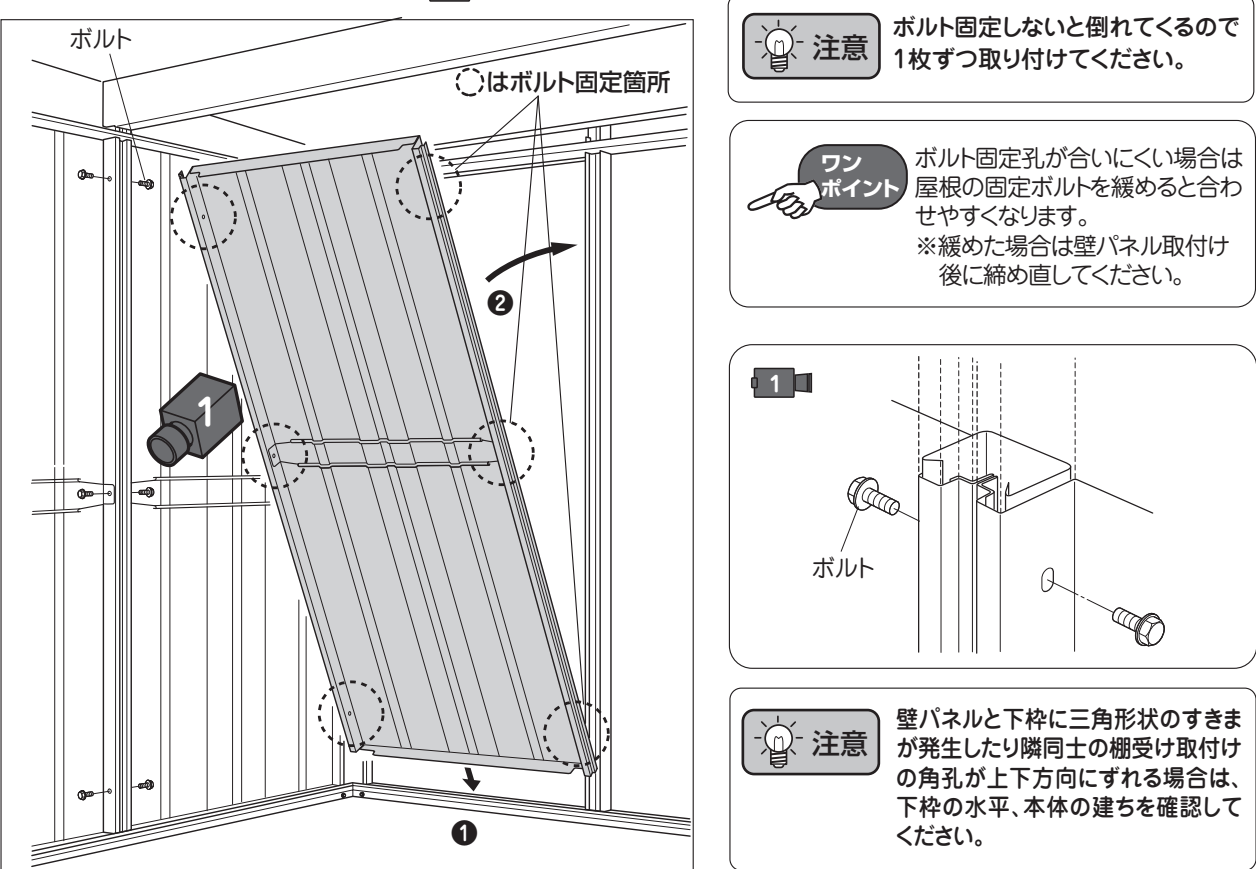
11-B もやの取付け ●積雪型の場合

- ① もやS を正面から間柱側に載せて下側の穴をボルト止めします。
- ② 正面から もやSW をもやS に落としこみボルト止めします。1
- ③ もやS と屋根をボルト止めします。



12 壁パネルの取付け

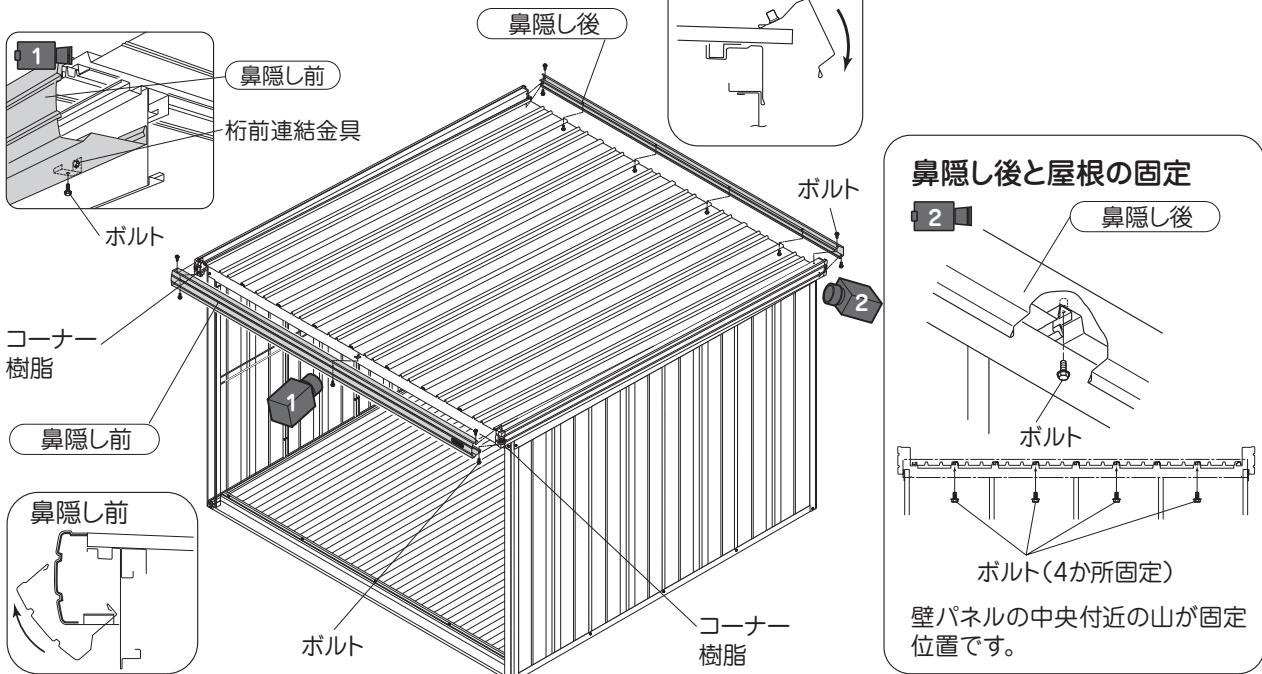
- ①室内から（壁パネル）をはめ込みます。
（下を先に入れて上をはめ込みます。）
②柱・間柱にボルト止めします。1



※壁パネルに上下の区別はありません。
※間仕切り部には高さの低いパネルを使用します。

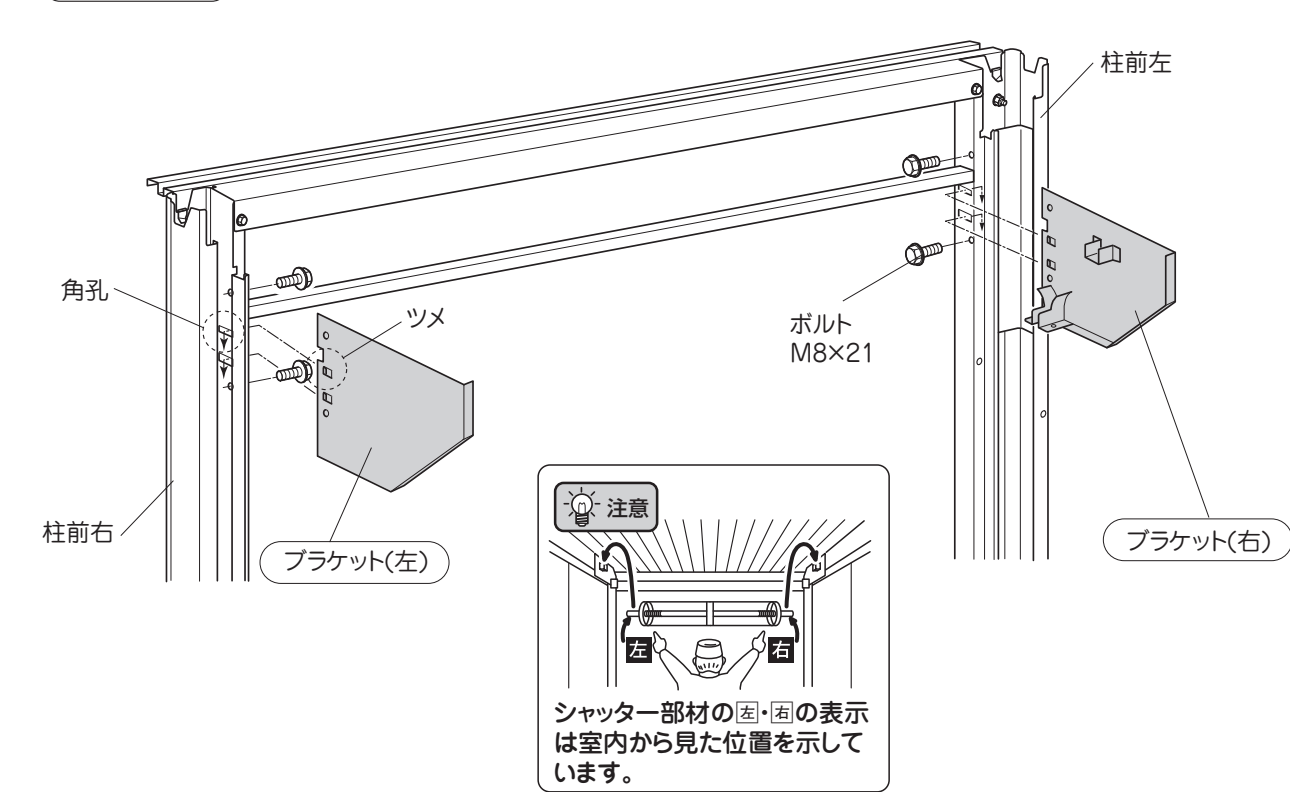
13 鼻隠しの取付け

- ① **鼻隠し前**・**鼻隠し後**を上枠左右のコーナー樹脂にかがせるようにして取付けてボルト止めします。
- ② **鼻隠し前**の中央を桁前連結金具にボルト止めします。**1**
- ③ **鼻隠し後**と屋根をボルト止めします。**2** **鼻隠し後**



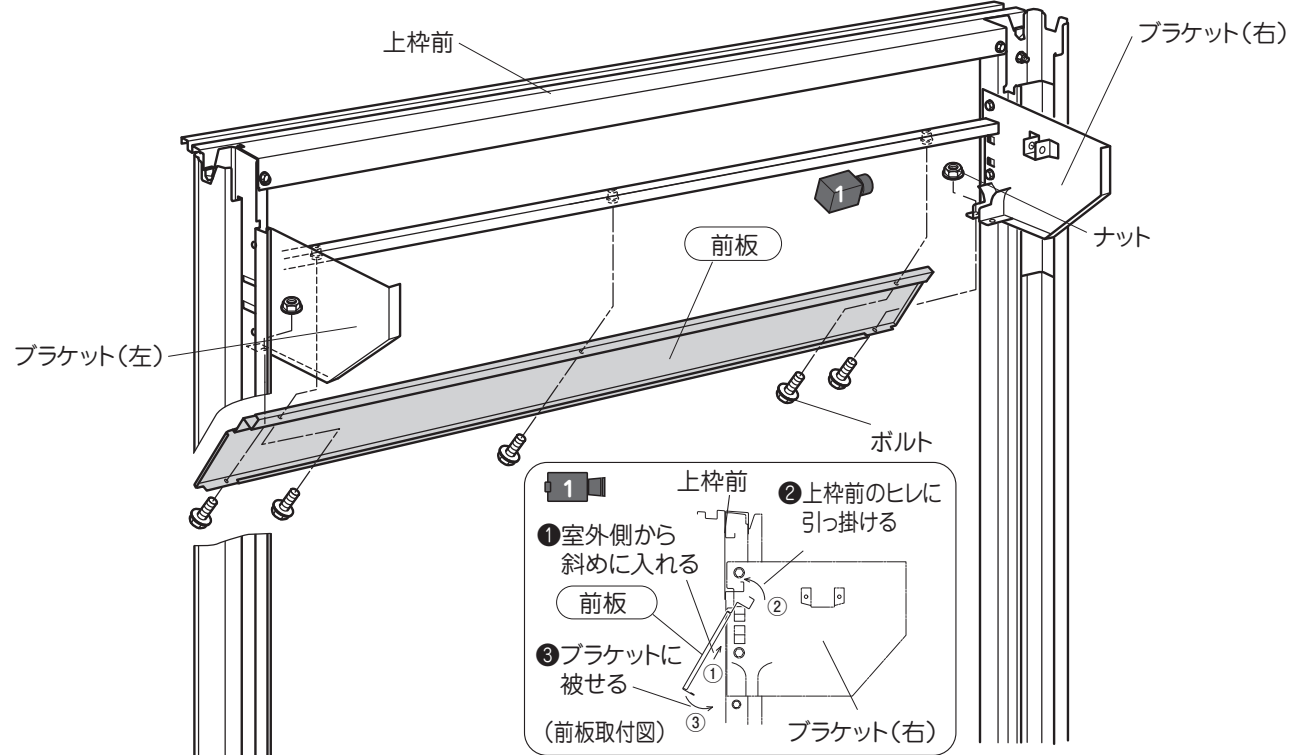
14 ブラケットの取付け

- ①(プラケット左右)のツメを柱前左右の角孔部に引っ掛けてボルト止めします。



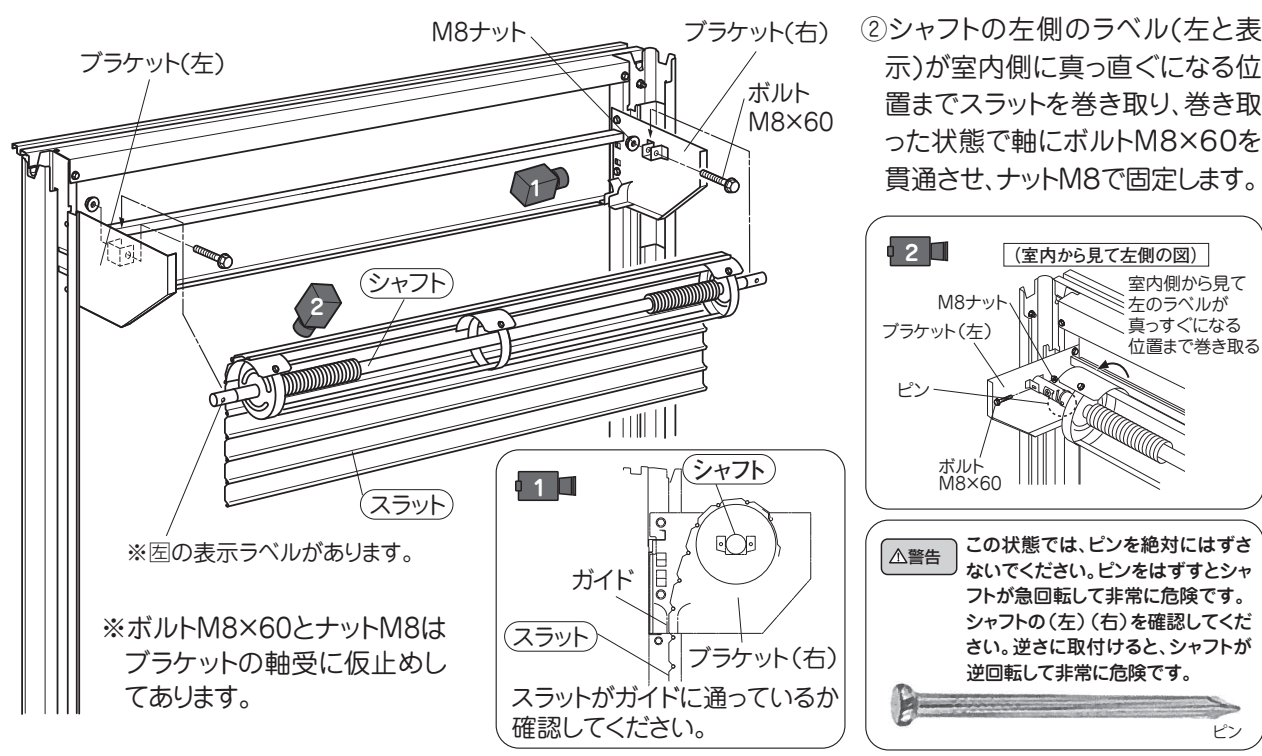
15 前板の取付け

- ① **前板** を下図のように室外側から斜めに入れ、上部は上枠前に引っ掛けてボルト止めします。下部はブラケットにかぶせてボルトとナットで固定します。1



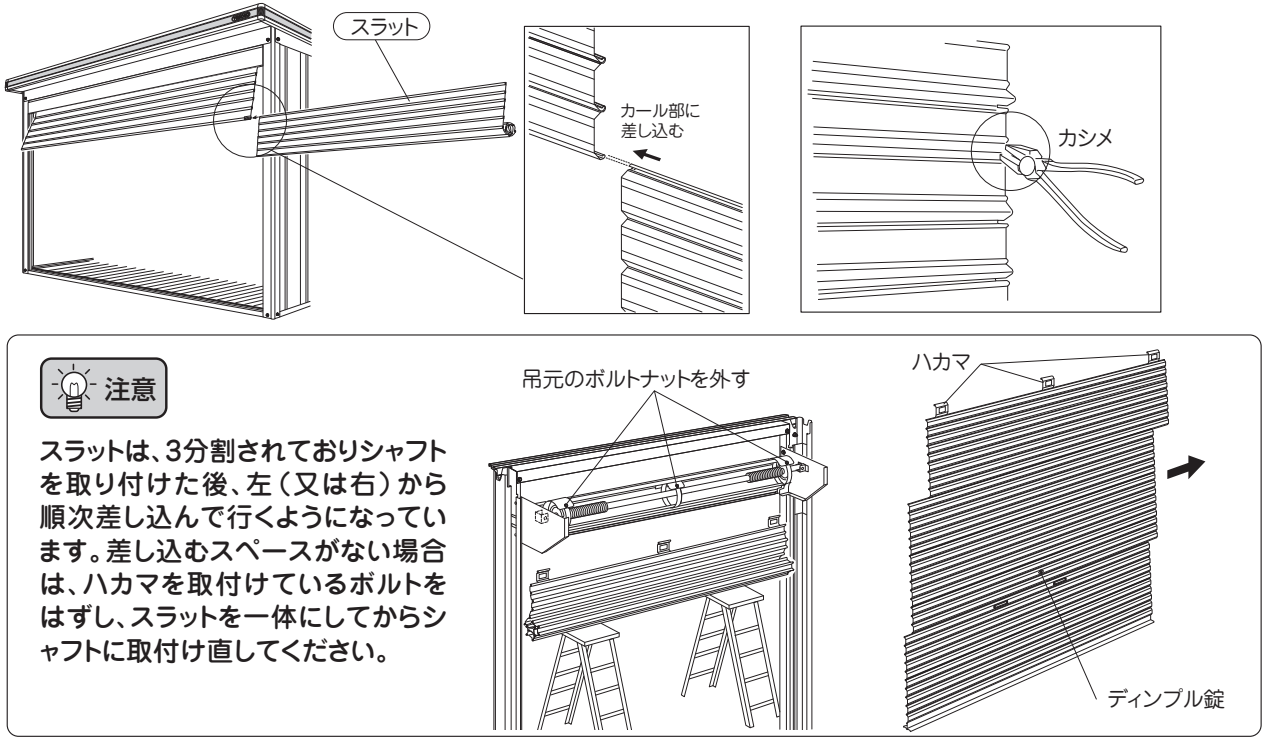
16 シャフトの取付け

- ①室内側からシャフトを軸受に載せ、スラットをブラケットのガイドに通します。
(先にスラットをガイドに通してから軸受に載せても施工出来ます)

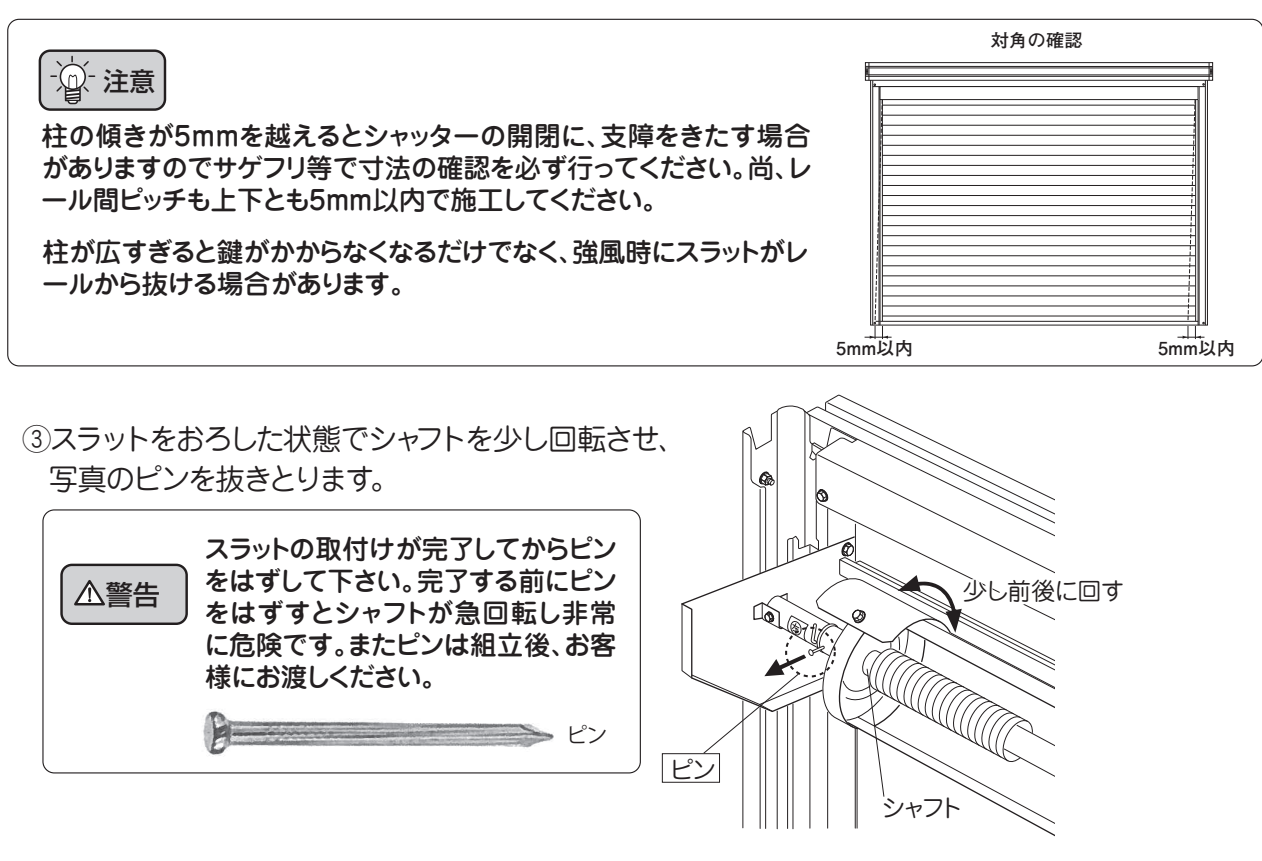


17 シャッタースラットの取付け

- ①上から「外錠付スラット」→「水切り付スラット」の順に室外側から差し込み、継ぎ目の両端をペンチ等でかきつけて固定します。

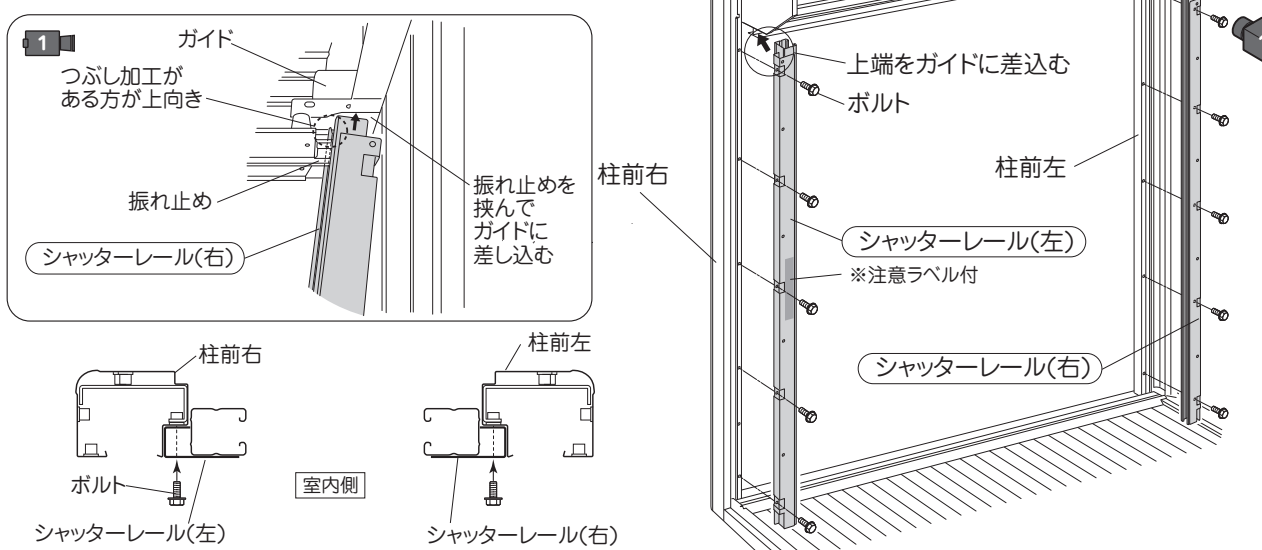


- ②スラットをおろし柱とゆがみがないか確認してください。



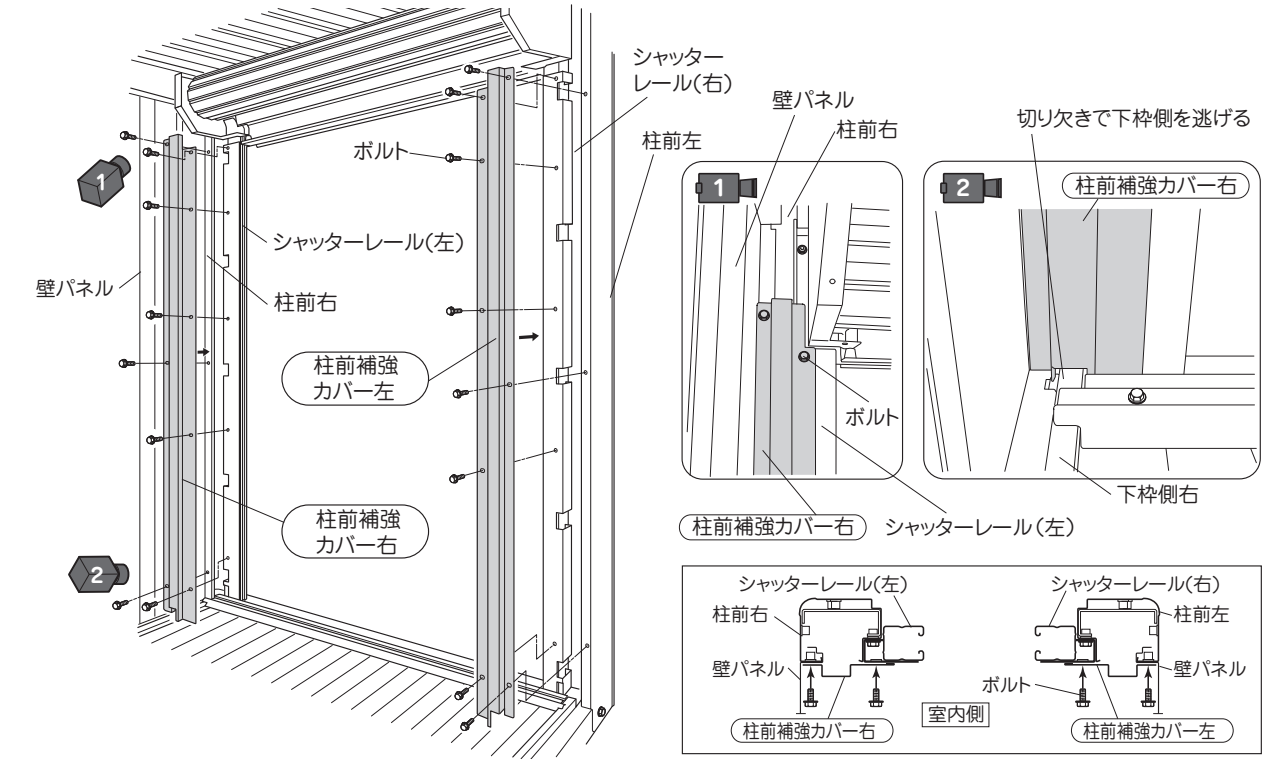
18 シャッターレールの取付け

- ① スラットをブラケットのガイドに通しながら巻き上げます。
- ② **シャッターレール** の上部(つぶし加工あり)をブラケットのガイドに差し込み、下の断面図のように柱に沿わせてボルト止めします。 
- ※ シャッターレール(左)に貼ってある注意ラベルが正しく表示されているか確認してください。



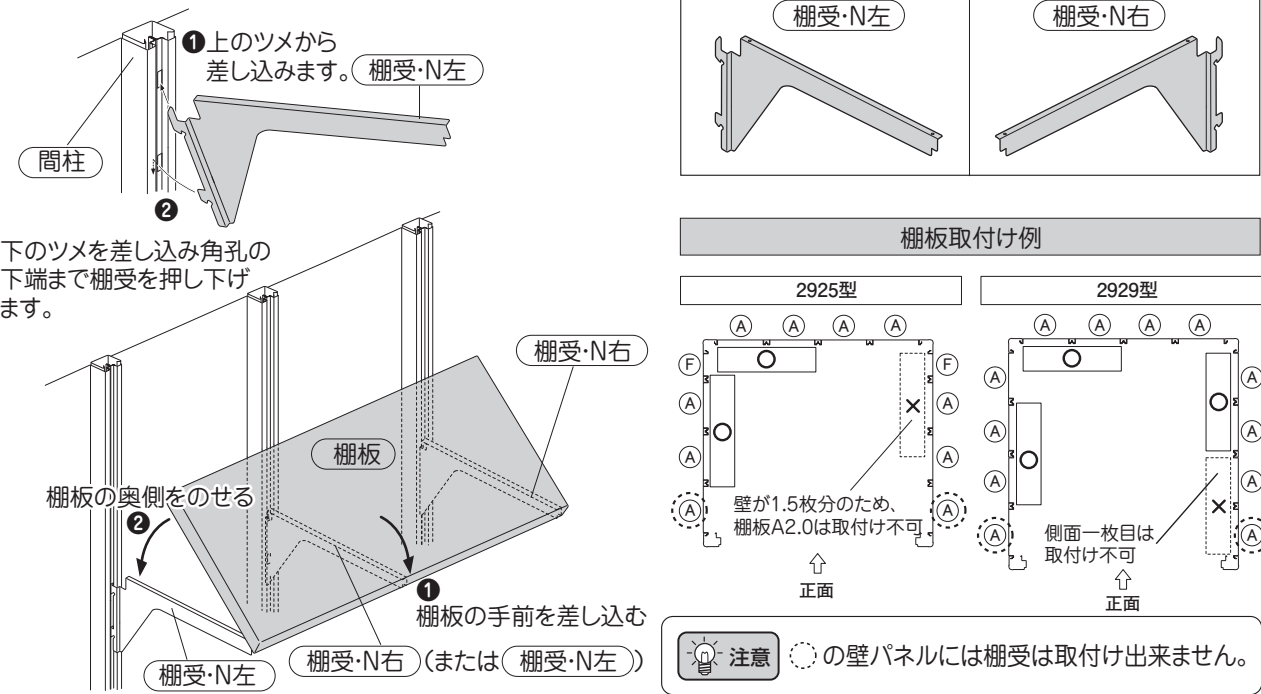
19 柱前補強カバーの取付け

- ① **柱前補強力パー左右** を柱前とシャッターレールに下図のようにかぶせてボルト止めします。



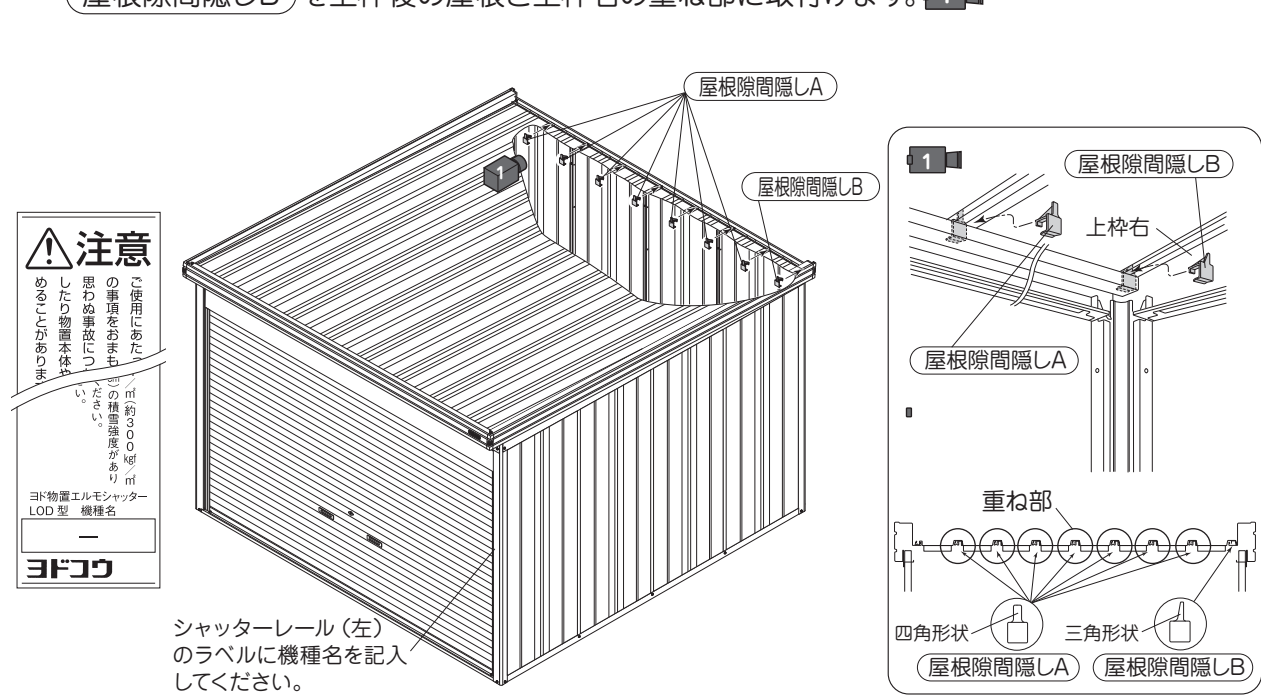
20 棚板の取付け

- ① **棚受** を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
② **棚板** を棚受の先端に差し込んでから取付けます。
(標準で棚板A2.0が4枚付いています。)



21 その他部品の取付け

- ①シャッターレール(左)の注意ラベルに、機種名を記入します。
- ② **屋根隙間隠しA**を上枠後の屋根の重ね部に、
屋根隙間隠しBを上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。1



○組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。

- ① シャッターがスムーズに開閉するかご確認ください。
- ② 鍵が正常に作動するかご確認ください。
- ③ 棚板の配置確認をしてください。
- ④ 機種名が記入されたか確認してください。
(シャッターレール裏面の注意・警告ラベル)
- ⑤ ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。
- ⑥ 施工業者の方は、シャッターピンと取扱説明書と保証書をお客さまにお渡し
したか確認してください。

M E M O

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, resembling notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

お客様へ シャッタービン、取扱説明書、保証書は大切に保管してください。

施工業者の方へ 上記と併せて、本書も必ずお客様にお渡しください。

(LOD(S)-2925HF-2929HF)

ヨドコウ

LOD-2925_HF_1R_KS_2025A